Rotary 第2820地区
Tsuchiura South Rotary Club Weekly Report 編集 土浦南RC会報委員会

土浦南ロータリークラブ 週報

土浦全国花火競技大会

会長 稲野邉 穣　幹事 高野 和彦
■ 例 会 場　ホテルマロウド筑波 TEL.029-822-3000
■ 例会日時　火曜日　12:30～13:30
■ 事 務 局　土浦市真鍋 1-2-6 金塚ビル 3F TEL 029-823-4524 FAX 029-869-9006
■ ホームページ　http://tsuchiura-src.jp
■ Eメール　info@tsuchiura-src.jp

2018～2019年度
国際ロータリーテーマ

インスピレーションになろう

2018年10月30日　15号

2018年10月23日　第3例会報告

地区 HP　地区行事予定

1．点　　鐘　稲野邉会長
2．ロータリーソング斉唱
（奉仕の理想）
3．来賓紹介　稲野邉会長
4．委員会報告　米山記念奨学委員会
5．ニコニコボックス発表　楢戸副ＳＡＡ
6．出席状況報告　出席委員会
7．来賓卓話
土浦警察署長 監視　益子正寛様
8．点　　鐘　稲野邉会長
9．ロータリーソング斉唱
（我等の生業）

（司会進行　阿部ＳＡＡ）

本日のプログラム
鈴木常生国際奉仕委員長より，大甲ロータリークラブ訪問報告を伺います。

次週のプログラム
11月6日(火)の例会は，ロータリー財団月間に因み，「財団出前卓話」を，地区ロータリー財団・地区補助金担当の髙橋信子様から伺います。

出席状況

会員数	出席数	出席免除	出席率	全員出席卓	3名以上欠席卓	メークアップ	出席訂正率
名	名	名	%	卓	卓	名	%
93	72	8	78.26	2	5・8・9	8	86.96

【来賓卓話】

土浦警察署署長 警視　益　子　正　寛　様

ただ今，ご紹介をいただきました土浦警察署長の益子正寛です。

本日はお招きをいただきありがとうございます。皆様方には平素，警察活動各般にわたり，深いご理解とご協力をいただいておりますことにこの場をお借りしてお礼申し上げます。

さて，県内の犯罪情勢を見ますと，刑法犯認知件数は，平成15年以降，14年連続で減少し，ピークであった平成14年の約4割程度まで減少しており，数値的には改善がみられています。

しかしながら，犯罪の総量が減少している中で，侵入盗や自動車盗など県民生活を脅かす犯罪は後をたたず，特に高齢者等を狙ったニセ電話詐欺については，平成29年中の県内の認知件数は340件，被害総額が約4億6,400万円で，本年も，9月末現在で215件，約2億2700万円であり，依然として深刻な状況にあります。

当署管内では，昨年20件，約2,900万円の被害で，9月末現在では16件，約2,600万円の被害となっており，土浦署管内においても県内全体と同じ深刻な状態にあります。因みに，参考までですが，県内のニセ電話詐欺事件で，過去一番認知件数が多かったのは，平成16年で435件で被害総額は約5億2100万円でした。また，県内の過去一番の被害総額は，平成26年で約15億8千万円でした。

ご存知の方もおられると思いますが，本年9月19日，土浦市，かすみがうら市の両市議会定例会におきまして，「ニセ電話詐欺撲滅のための決議」がなされました。これによりまして，連携を一層強化し，一丸となった隙のないセーフティーネットをつくり，自治体や関係機関団体と連携して社会全体で，ニセ電話詐欺撲滅の気運を高めて行きたいと思います。

県警では，警察の総力を挙げて，ニセ電話詐欺対策を強力に推進していくため，警察本部に本部長を長とする「ニセ電話詐欺総合対策推進本部」を設置して，ニセ電話詐欺撲滅のため各種施策を実施しています。

特に，皆様に次の2点お願いいたします。

一点目は，広報啓発活動です。

県民の方々にニセ電話詐欺に対する抵抗力をより一層強くするため，皆様がお持ちのネットワークなどを活用していただき，できるだけ多くの方々に対して，その現状と対策についてお伝えしていただきたいのです。

例えば，自分の家族あるいは業務の中で関わりのある全ての方々に注意喚起を継続的に行っていただきたいのです。県民一人ひとりに対する注意喚起の輪を広げ，ニセ電話詐欺に対する抵抗力の強化に努めて頂きたいのであります。

二つ目は，高齢者の方の被害防止であります。

ニセ電話詐欺の被害者の約9割以上が65歳上の方で，長年にわたり，真面目に仕事をしてこられ，やっとの思いで，老後や子供のために貯蓄をされてきた方々であります。

そのやっとの思いで貯めてきた財産を，あっという間に騙し取られ，精神的なショックを受ける高齢者の心情を思うと，このニセ電話詐欺という犯罪を絶対に許すことはできません。如

何にして被害を防ぐか，どのように声をかけ，どのようにして見守り，被害に遭わない環境を作るかを皆様と一緒に考え，防止方策を講じていきたいと思います。

ニセ電話詐欺は，今や県民生活を脅かす犯罪として多発しており，改めて，本日お集まりの土浦南ＲＣの皆様方にその被害の実態を知っていただき，ニセ電話詐欺が我々にとって「自分の問題」であると再認識していただき，撲滅に向けてご協力を頂ければ幸いと思います。

ニセ電話詐欺の全体の特徴などについてお話しますので，被害防止のための参考としていただきたいと思います。

まず，被害の特徴ですが

○　被害全体の約５割を女性高齢者（65 歳以上）が占め，男性高齢者（65 歳上）との合計では被害全体の約７割を占める。

○　被害の交付手段別１件あたりの平均被害額は，手交型が約 159 万円，振込み型（窓口以外）が約 117 万円，送付型が約 260 万円

となっています。

地域別では土浦市・かすみがうら市などの県南地域は 113 件 33%，次いで県央地域で 97 件 29%，３番目が県西地域で 85 件 25% となっており，県南地域は県内全体３割を占めていることが分かります。

被害金額別では 100 万円未満 122 件 35%，100 万円以上 500 万円未満が 94 件 28%，500 万円以上 1000 万円未満が 20 件６％，1000 万円以上が６件２％，カード 71 件 21% などとなっています。最近のカードを欺し取る手口が増えています。

ニセ電話詐欺の中の手口の一つである「オレオレ詐欺」被害の特徴は

○　オレオレ詐欺被害の９割以上が高齢者（65 歳以上）です。

○　手口として，犯人から

・横領した金を補填するため（息子）
・鞄を紛失したため（息子）
・預貯金を保護するため（警察官騙し）
・口座が不正利用されるため（百貨店騙り）

等の名目で要求があり，現金やキャッシュカードの手交に至るオレオレ詐欺が多く発生しています。

○　また，アポ電（犯人側からの最初の電話）に対し 110 番通報や相談に至るケースもありますが，金融機関の窓口での未然防止活動で止めることができたものもあります。

ニセ電話詐欺には様々な手口がありますが，その基本的な手口を知っていることによって被害防止になりますので，一人暮らしの高齢者や親族にお話をして頂いて１件でも被害を防止したいと思います。

その一つ目が，キャッシュカードをダマし取る手口です。

警察官や全国銀行協会，郵便局員等が自宅までキャッシュカードを取りに来るということは絶対にありません。カードを預かるや交換するなどは全て詐欺です。

その二つ目が，未納料金などをコンビニのプリペイド型電子マネーで払えという手口です。コンビニで，有料サイト等の未納料金を払えは全て詐欺です。

三つ目が，「『携帯電話の番号が変っわた』等と電話し，お金を要求する息子や孫」は全て詐

欺です。

　このようなニセ電話詐欺の手口を良く知っていただいて，自分の家族あるいは業務の中で関わりのある全ての方々に注意喚起を行っていただきたいのです。

　土浦警察署といたしましても，皆様のご協力を得ながら，一人でも多くの犯人を検挙し，これ以上，ニセ電話詐欺で，悲しい目に遭われる方を増やさないために，全力で，ニセ電話詐欺撲滅に立ち向かつてまいります。

　結びに，土浦南ＲＣの発展と皆様方のご健勝ご多幸をご祈念申し上げます。